

事業者向け 児童発達支援・放課後デイサービス自己評価表

公開日

2023年3月25日

事業者名：児童発達支援・放課後等デイサービス カンガルー療育支援室横浜北部ステーション

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|------------------|---|-------------------------------------------------------------|----|---------------|-----|----------------------------------------|
| 環境・ 体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 1 | 8 | | 基準を満たしているが、狭く感じることもある配置で改善していきたい |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | 6 | 3 | | 適切に配置している |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 5 | 3 | 1 | 入口、避難経路の確保に努める |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 4 | 5 | | 振り返りは全体で行っているが、職員間で差がでないようにしていく |
| | ⑤ | 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 7 | | | R5年度から実施 |
| | ⑥ | この自己評価の結果をホームページ等で公開しているか | 2 | | 2 | R5年度から実施 |
| | ⑦ | 保護者向け評価表を活用し、評価結果を業務改善につなげているか | 6 | 2 | | R5年度から実施 |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 8 | 1 | | 園内研修を行っているので、次年度は外部研修も取り入れていく |
| 適切な 支援の 提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 7 | 1 | | 面談で保護者から子どもの現状や課題を聞き取り、次の支援計画に活かしている |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 5 | | 2 | 次年度から標準化されたものの導入を検討していく |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案・反省をチームで行っているか | 4 | 5 | | 次年度は、反省を立案につなげていきたい |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 5 | 4 | | 季節により、変化を加えている |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、活動や課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 2 | 5 | | 活動のみでなく、子どもの現状と目標を達成するための課題を考えていく |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる計画を作成しているか | 5 | 3 | 1 | 個別活動と集団活動をバランスよく組み合わせる |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 8 | 1 | | 打合せした内容を実行するため |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で反省をし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 5 | 4 | | 送迎に出るスタッフがいたので、当日に行えず翌朝行っている |
| | ⑰ | 日々の支援に関して丁寧に記録をとり、支援の検証・改善につなげているか | 6 | 2 | 1 | 記録を支援の検証や改善に活かしていく |
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 7 | 1 | 1 | モニタリングと見直しは行っている |
| | ⑲ | 運営規定に定めた療育理念や目標の到達を目指して支援を行っているか | 4 | 4 | | 理念や目標の達成のためにどんな支援をすればよいか考えて日々の支援を組み立てる |

| | | | | | | |
|--------------|---|------------------------------------------------------------------------|---|---|---|-----------------------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 8 | 1 | | 担当者会議は全て参加している |
| | ㉑ | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 9 | | | |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 9 | | | |
| | ㉓ | 他児童発達支援・放課後デイサービスの事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 7 | 1 | 1 | 必要に応じて情報共有している |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 6 | 2 | | 担当者会議に参加し、情報の共有をしている |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修しているか | 7 | 1 | 1 | 次年度は研修を受ける予定をしている |
| | ㉖ | 近隣のイベントへ参加したり、交流したりする機会があるか | 5 | 2 | | 土曜日をメインに、イベントへ参加している |
| | ㉗ | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 7 | 1 | | 積極的に参加できている |
| | ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 9 | | | 共通理解できている |
| 保護者への説明責任等 | ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 2 | 2 | 2 | 職員の研修から始めていきたい |
| | ⑳ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 8 | 1 | | 説明を行っている |
| | ㉑ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 8 | 1 | | 必要に応じて、支援を行っている |
| | ㉒ | 保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 1 | 1 | 5 | コロナにより控えていたが、今後開催していく方向 |
| | ㉓ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 8 | 1 | | 苦情になる前に、丁寧に対応している |
| | ㉔ | 活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 5 | 2 | 2 | 活動後の発信はできている 次年度は、予定(計画)も伝えていく |
| | ㉕ | 個人情報に十分注意しているか | 7 | 2 | | 注意だけでなく徹底していく |
| | ㉖ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために配慮をしているか | 7 | 1 | | 配慮している |
| | ㉗ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | 2 | 4 | コロナにより控えていたが、今後、考えていきたい |
| 非常時等の対応 | ㉘ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員に周知しているか | 8 | 1 | | 策定できているので、周知につとめていく |
| | ㉙ | 非常火災の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な対応をしているか | 7 | 2 | | いろいろなパターンを想定し、訓練していく |
| | ㉚ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 9 | | | |
| | ㉛ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 8 | 1 | | 指示書に基づいて対応している 次年度はさらなる徹底を図る |
| | ㉜ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 8 | 1 | | 作成している 共有を徹底していく |